

事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

京都府 宮津市

6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|--|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin京都 |
| 協力自治体 | 京都府宮津市 |
| モデル校 | 京都府宮津市立栗田学院栗田小学校 |
| 内容 | 宮津市に残る資料館や当時北前船が停泊していた由良湊、廻船業で財を成した旧三上家住宅の見学。アクティビティとして宮津市に伝わる宮津おどりを体験した。講師は先祖が北前船の船頭だった「由良の歴史を探る会」加藤正一先生と宮津市教育委員会の東高志先生。 |
| ワークショップ | <p>(1)時期:2018年8月30日(木)9:00~16:00 (2)場所:京都府宮津市 (3)参加者:17名(小学5年生17名) (4)講師:「由良の歴史を探る会」加藤正一先生 宮津市教育委員会 東高志先生</p> <p>(4)内容: 【北前船資料館】 北前船の模型を見て船の構造や役割を学ぶほか、船頭が書類や金品を保管した船筆筒や方角を示す船磁石などの展示品を見学する。</p> <p>【由良湊】 現在は港としては使われていない由良湊を見学。かつて北前船が運んでいた物や、荷積みや荷下ろしについて学ぶ。</p> <p>【宮津おどり体験】 宮津おどり振興会の方を講師に迎え、「宮津節」、「あいやえおどり」、「松坂おどり」から成る「宮津おどり」を踊る。また、北前船と宮津踊りの関係や踊りのフリの意味を学ぶ。</p> <p>【旧三上家住宅】 江戸時代に酒造業・廻船業・糸問屋などを営んでいた旧三上家。当時の生活や家の特徴を記録し、北前船の資料などを読み解く。</p> |
| 課外授業 | <p>(1)時期:2018年11月10日(土)13:00~14:50 (2)場所:京都府宮津市栗田小学校 (3)参加者:17名(小学5年生17名) (4)内容:栗田小学校学習発表会にて北前船ワークショップで勉強したことを全校生徒と保護者が見守る中発表した。 発表はテレビのニュース番組風の作りになっており、キャスター役とゲスト役に分かれて番組(発表)を進行していた。 ワークショップの様様をVTRとして劇で再現するなど工夫も見られた。</p> |
| 取材 | 京都新聞 8月31日(金)付掲載 |

兵庫県 赤穂市

6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|---|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin兵庫県 |
| 協力自治体 | 赤穂市教育委員会 |
| モデル校 | 坂越小学校 5年生 25名 |
| 内容 | <p>日本遺産に認定された寄港地38市町の小学生が地元の北前船が築いた港の文化・特徴・功績を学び全国で共有する「北前船こども交流拡大プロジェクト」を実施。</p> <p>北前船が地元にもたらした食文化や歴史を楽しみながら学ぶとともに、日本経済を支える「港」の役割について再認識し、北前船を培った海に関心を持つことを目的とし、ワークショップを行った。</p> |
| ワークショップ | <p>(1)時期:2018年9月6日(木)9:00~15:30 (2)場所:兵庫県赤穂市 (3)参加者:坂越小学校5年生 24名 ※1名欠席 (4)講師:門田先生(坂越のまち並みを創る会) 矢竹先生(坂越のまち並みを創る会) 荒木先生(赤穂市教育委員会生涯学習課) (5)内容:</p> <p>座学①北前船のお話を聞こう(@坂越公民館) 目的→荒木先生による北前船講義。北前船とは何か?を学ぶ</p> <p>見学①奥藤酒造郷土館 目的→北前船と同じ千石船の模型を使って当時の船の構造を学ぶ</p> <p>体験①1/5北前船帆揚げ体験(@坂越浦海岸) 目的→1/5サイズの北前船の帆を上げ、帆揚げの大変さを学ぶ</p> <p>見学②旧坂越浦会所 目的→船を管理していた会所で北前船の物流面を学ぶ</p> <p>見学③大避神社 目的→神社に残る船絵馬等の奉納物を見て、当時の航海の危険さを学ぶ</p> <p>座学②坂越の船祭りDVD視聴(@大避神社) 目的→北前船により発展した伝統の祭りについて学ぶ</p> <p>見学④生島、坂越浦海岸 目的→良港を形成した生島の役割を知り、今と昔の地元の海の違いを知る</p> <p>まとめ・壁新聞作成(@坂越公民館)</p> |
| 課外授業 | <p>(1)時期:2018年11月21日(水)14:00~15:00 (2)場所:兵庫県赤穂市 坂越小学校 (3)参加者:25名(小学5年生25名) (4)内容:全国の北前船フォーラムにも出席される、「坂越まち並みを創る会」門田氏を講師に招き、ガイドブックを基に北前船の全国レベルでの動きを講義して頂いた。その後、ワークショップで自分たちが取材した地元の北前船の記事を改めて読み、全国との比較や、全体の動きの中の地元の役割を学ぶ授業を行った。</p> |
| 取材 | <p>ワークショップ:サンテレビ「4時キャッチ」10月8日(月) 16:00~放送 課外授業:サンテレビ「サンぶん!」12月27日(木)21:26~放送</p> |

ワークショップの様子



課外授業の様子



取材素材



事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

岡山県 倉敷市

6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|---|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin岡山 |
| 協力自治体 | 倉敷市教育委員会 |
| モデル校 | 下津井東小学校 5年生 21名、下津井西小学校 5年生 10名 |
| 内容 | <p>子どもたちの地元下津井で活躍した北前船。海を越えて色んな物を運び、私達の暮らしを豊かにした。運んだものは物だけでなく、毎日の暮らしに関わる文化も運んで来た。その北前船が日本遺産に選ばれた。イベントでは、下津井の子どもたちに、「下津井は日本遺産がある街」という認識を与え、自分の街の北前船のことを調べることで地元の海の素晴らしさに気づいてもらうことを目的とする。本日の学習をもとに、夏休み期間中に北前船こども新聞を制作する。</p> <p>■当日の様子 座学やフィールドワークを通して、北前船について学ぶだけでなく、実際に目で見て体験することができた。また、自分たちの街の北前船のキャッチコピーについてみんな話し合っただけでなく、自分たちの海に目を向けるきっかけにもなった。</p> |
| ワークショップ | <p>(1)時期:2018年7月17日(火)09:40~14:40 (2)場所:岡山県倉敷市 (3)参加者:31名(小学5年生31名) (4)講師:倉敷市むかし下津井回船問屋(館長) 堂下和紀</p> <p>(5)内容: 倉敷市むかし下津井回船問屋: 北前船の役割、航路、下津井にはどのような産物が届き、何を送っていたかについて学ぶ。(座学、施設見学)</p> <p>祇園神社: 神社と北前船の関係について学ぶ。(施設見学)</p> <p>下津井共同井戸群「鶴井戸」「亀井戸」: 真水が貴重だった当時、お水を汲みに寄港していたこと等を学ぶ。(施設見学)</p> <p>倉敷市むかし下津井回船問屋: 現在の下津井港の取り組みなど、海との繋がり、海の恵みなどの学習(聴講)</p> <p>倉敷市むかし下津井回船問屋: グループワークで学んだことのまとめ、発表。(ワークショップ)</p> |
| 課外授業 | <p>(1)時期:2018年12月17日(月)下津井西小学校09:40~10:25 下津井東小学校10:45~11:30 (2)場所:岡山県倉敷市 (3)参加者:29名(下津井西小学校5年生10名、下津井東小学校5年生19名) (4)内容:7月に実施した北前船ワークショップの振り返りと代表者による新聞の発表を行う。その後、北前船ガイドブックを使用し、倉敷と縁の深い北海道・富山・大阪を中心に、全国の寄港地について学ぶ。講師には、倉敷市日本遺産推進室 藤原氏、NPO法人鷺羽山の景観を考える会 楠本氏が登壇。</p> |
| 取材 | 海と日本プロジェクトin岡山 応援動画 8月19日(日) 12:54~放送 |

事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

ワークショップの様子



授業の様子



取材素材



事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

広島県 呉市

6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|---|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin広島県 |
| 協力自治体 | 呉市教育委員会 |
| モデル校 | 呉市御手洗地区・豊小学校 5年生 11名 6年生 9名 |
| 内容 | 日本遺産に認定された寄港地38市町の小学生が地元の北前船が築いた港の文化・特徴・功績を学び全国で共有する「北前船こども交流拡大プロジェクト」を実施。北前船が地元にもたらした食文化や歴史を楽しみながら学ぶとともに、日本経済を支える「港」の役割について再認識し、北前船を培った海に関心を持つことを目的とし、ワークショップを行った。 |
| ワークショップ | (1)時期:2018年8月20日(月)8:00~13:00 (2)場所:広島県呉市豊小学校 (3)参加者:20名(小学5年生11名 6年生9名) (4)講師:呉市文化スポーツ部文化振興課文化グループ 里田 謙一 豊小学校5年生担任 三井明子 豊小学校6年生担任 倉本倫典 (4)内容: 豊小学校:北前船壁新聞政策の為 江戸みなとまち展示館:北前船の概要(座学) 北前船のお宝発見フォトラリー:北前船が残っていたものの取材・撮影 船舶:北前船が実際通った航路の体験 |
| 課外授業 | (1)時期:2018年11月27日(火)13:50~14:35 (2)場所:広島県呉市豊小学校 (3)参加者:20名(小学5年生11名、小学6年生9名) (4)内容:自分達が育った街御手洗の魅力をより認識するために 北前船ガイドブック2018を見ながら他の寄港地と御手洗を比較しながら、 北前船と御手洗の歴史について学習した。 講師:呉市文化スポーツ部文化振興課文化グループ 里田 謙一 |
| 取材 | 中国放送「イマなまっ!」12月21日(金) 15:00~放送 |

事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

ワークショップの様子



課外授業の様子



取材素材



事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

鳥取県 鳥取市

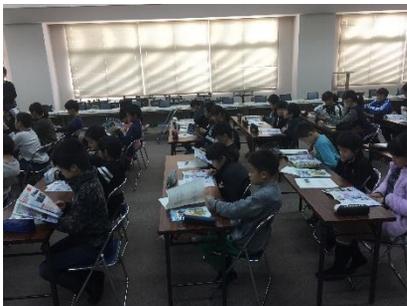
6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|---|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin鳥取県 |
| 協力自治体 | 鳥取市教育委員会 |
| モデル校 | 鳥取市立賀露小学校 5年生 15名 |
| 内容 | 日本遺産に認定された寄港地38市町の小学生が地元の北前船が築いた港の文化・特徴・功績を学び全国で共有する「北前船こども交流拡大プロジェクト」を実施。北前船が地元にもたらした食文化や歴史を楽しみながら学ぶとともに、日本経済を支える「港」の役割について再認識し、北前船を培った海に関心を持つことを目的とし、ワークショップを行った。 |
| ワークショップ | <p>(1)時期:2018年8月1日(水)09:00~16:00 (2)場所:鳥取県鳥取市 (3)参加者:15名(小学5年生15名) (4)講師:鳥取市教育委員会文化財課 佐々木 孝文 賀露神社 宮司 岡村 吉明</p> <p>(4)内容: ★賀露小学校:座学「北前船が運んだもの」「北前船が地域にもたらしたもの」 北前船を通して地域それぞれの「海でつないだもの、文化、食」などを学ぶ。 ★賀露小学校:座学「海運と船と港の役割」 ★賀露神社:「町で北前船ゆかりの場所・ものを探そう①」 北前船と賀露町のつながりと賀露神社に残された北前船の遺物(玉石・北前船模型・井光など) ★街探索:「町で北前船ゆかりの場所・ものを探そう②」 今も残る街中にある北前船ゆかりのスポット(上小路神社、街中路地、鳥ヶ島)を巡り北前船寄港地としての賀露の街を感じる ★賀露小学校校庭:北前船の大きさを体感しよう 船の大きさ:30m×7.5m、帆20m×18m</p> |
| 課外授業 | <p>(1)時期:2018年11月26日(月)10:40~11:25 (2)場所:鳥取県鳥取市 賀露小学校 (3)参加者:小学5年生58名 (4)内容:内容:鳥取市教育委員会文化財課の方を講師に、ガイドブックを活用して北前船の歴史と賀露港とのつながりを学んだ。</p> |
| 取材 | <p>日本海テレビ「ニュースevery日本海」8月1日(水)18:16~放送 日本海テレビ「鳥取の海を知り尽くそう」8月17日(金)15:50~放送 日本海テレビ「鳥取の海を知り尽くそう」12月29日(土)10:25~放送</p> |

ワークショップの様子



課外授業の様子



取材素材

日本海テレビ 8/1(水)ニュースevery日本海(18:15~)



事業ID:2017457198

事業名:海と日本プロジェクトinいしかわ

団体名:海と日本プロジェクトin石川県実行委員会

極秘

島根県 浜田市

6-(2) 他助成事業との連携企画詳細

| | |
|---------|--|
| イベント名 | 北前船こども交流拡大プロジェクトin島根県 |
| 協力自治体 | 浜田市 産業経済部 観光交流課 |
| モデル校 | 松原小学校 5年生 25名 |
| 内容 | 日本遺産に認定された寄港地38市町の小学生が地元の北前船が築いた港の文化・特徴・功績を学び全国で共有する「北前船こども交流拡大プロジェクト」を実施。北前船が地元にもたらした食文化や歴史を楽しみながら学ぶとともに、日本経済を支える「港」の役割について再認識し、北前船を培った海に関心を持つことを目的とし、ワークショップを行った。 |
| ワークショップ | <p><座学> 日時:7月6日(金)9:25～10:10、7月9日(月)14:35～15:20 場所:松原小学校(浜田市)5年生教室 生徒:松原小学校5年生(25名) 講師:岩町 功先生(石見郷土研究懇話会) 担任:高倉先生 内容:石見郷土研究懇話会 岩町功先生による、北前船が築いた港の文化・特徴・功績を学ぶ座学。</p> <p><こども新聞作成> 日程:9月5日(水)～9月10日(月) 場所:松原小学校(浜田市)5年生教室 生徒:松原小学校5年生(25名) 担任:高倉先生 内容:7月に実施した座学・フィールドワークの内容をもとにこども新聞を作成。</p> <p><まとめ授業(予定)> 日時:12月14日(金)14:30-15:15 場所:松原小学校(浜田市)5年生教室 生徒:松原小学校5年生(25名) 担任:高倉先生 内容:プロジェクトの総まとめとして、北前船寄港地について学んだ成果をまとめたガイドブックを使用し、浜田と他の寄港地の共通する部分や異なる部分を生徒各自が発表する中で、北前船寄港地や地元の海への学びを深める授業。</p> |
| 課外授業 | (1)時期:7月10日(火)9:25～12:00 (2)場所:島根県浜田市 (3)参加者:25名(小学5年生25名) (4)内容: 講師:楫ヶ瀬 孝先生(郷土史家) 担任:高倉先生 江戸時代の海岸絵図と北前船の客船帳を所有する、同地区の楫ヶ瀬孝先生の案内で地区内の史跡5カ所を見学。 |
| 取材 | 山陰中央テレビ 7月 11日(水) 11:49～放送 プライムニュース デイズ 石見ケーブルビジョン 7月13 日(金) 17:00～放送 山陰中央新報 7月 24日(火)付 掲載 |

ワークショップの様子



課外授業の様子



取材素材



新聞掲載

現地見学会で楢ヶ瀬孝さん（右端）から外ノ浦の歴史を学ぶ児童たち



「外ノ浦」の魅力新聞に

浜田市浅井町の松原小学校の5年生児童が、北前船寄港地の日本遺産として5月下旬に追加認定を受けた外ノ浦地区（浜田市外ノ浦町）の見どころを伝える新聞づくりに取り組んでいる。江戸時代に北前船寄港地だった15道府県の小学生が参加する交流拡大プロジェクトの一環。座学や見学会を経て秋までに学習成果をまとめ、全国の小学生たちと共同で魅力を発信する。（佐々木一全）

松原小児童 北前船交流企画で 史跡5カ所を見学

新聞づくりは北前船交流」として選出された各1校が拡大機構（東京都）が主催。町並みや文化財について学寄港地の日本遺産認定を受習し、新聞制作する。完了した15道府県で、モデル校 成した新聞は同機構が冊子

浜田

1冊にまとめ、10月にモデル校全校に配布する。島根のモデル校の松原小は、5年生児童25人が制作に挑戦。7月に地元の郷土研究会関係者を招き、北前船の航路や運搬物などについて学び始めた。

このほどあった現地見学会では、江戸時代の海岸絵図と北前船の客船帳を所有する同地区の楢ヶ瀬孝さん（65）の案内で地区内の史跡5カ所を見学。江戸時代の船乗りが日和山の方角石で航路を決定したことや、金刀比羅神社の鳥居には北前船で須磨（兵庫県）から運ばれた石材「桜御影」が使用されていることなどの解説に聞き入った。

新聞は六つのグループに分かれて制作し、9月中旬の完成を目指す。見学会で熱心に質問した大木奏和君（10）は「たぐさんの場所で、昔の面影を感じることができた。学んだことを生かして、外ノ浦の素晴らしさが

感じられるような新聞に仕上げたい」と話した。

2018年7月24日 山陰中央新報掲載